





















- 学研究第28巻3号 .pp.10-21.
- 6) 西嶋尚彦、中野貴博、山田剛史(2000)単一事例研究法を用いた自覚的コンディション変動の統計的分析. 体育学研究第45巻. pp.619-631.
  - 7) D.H. バーロー、M. ハーセン(1997)一事例の事件デザイン-ケーススタディの基本と応用-. 二瓶社. pp.207-211.
  - 8) 和久貴洋、河野一郎他(1993)剣道選手のコンディショニングに関する研究-コンディション把握のための指標と競技現場におけるコンディション管理方法の検討-. 武道学研究第26巻第2号. pp.12-24.
  - 9) 齋藤実、和久貴洋他(1995)剣道選手のコンディショニングに関する研究(VI) .-稽古前の精神的コンディションと稽古時のコンディションの関係. 武道学研究第28巻(別冊) pp.40
  - 10) 菅野淳、西嶋尚彦(1996)プロサッカー選手のシーズンを通したコンディショニング- Jリーグサテライト選手における実践-. トレーニング科学第8巻. pp.43-50.
  - 11) 和久貴洋、結城匡啓他(2003)競技スポーツにおけるコンディショニングの成功・失敗要因に関する研究. 平成13、14年度スポーツ医・科学事業・スポーツ情報サービス事業中間報告書. 国立スポーツ科学センター. pp.111-118.